



平成26年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年5月7日

上場取引所 東

上場会社名 OBARA GROUP株式会社

コード番号 6877 URL <http://www.obara-g.com/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 小原 康嗣

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 飯高 成美

TEL 046-271-2124

四半期報告書提出予定日 平成26年5月14日

配当支払開始予定日

平成26年6月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第2四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	24,325	34.3	5,038	61.4	5,395	39.3	3,576	53.8
25年9月期第2四半期	18,106	18.4	3,121	64.4	3,874	81.7	2,326	101.3

(注)包括利益 26年9月期第2四半期 4,652百万円 (△22.4%) 25年9月期第2四半期 5,994百万円 (124.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第2四半期	184.34	—
25年9月期第2四半期	119.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第2四半期	52,324		35,983			65.0
25年9月期	47,461		32,812			65.4

(参考)自己資本 26年9月期第2四半期 34,027百万円 25年9月期 31,019百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	10.00	—	40.00	50.00
26年9月期	—	20.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年9月期期末配当金の内訳 普通配当30円 記念配当10円

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,500	15.3	7,750	23.4	8,150	11.0	5,150	12.1	265.12

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) SPEEDFAM (NANJING) MECHATRONI
CS CO., LTD.、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、(添付資料)P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年9月期2Q	20,869,380 株	25年9月期	20,869,380 株
② 期末自己株式数	26年9月期2Q	1,568,953 株	25年9月期	1,439,091 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年9月期2Q	19,403,571 株	25年9月期2Q	19,430,866 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手した情報に基づき判断したもので、リスクや不確実性を含んでおり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、(添付資料)P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	11
(1) 地域別販売状況	11
(2) 生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年10月1日～平成26年3月31日）における世界経済は、米国において景気回復の動きが持続したものの、アジアを始めとする新興国の経済成長の鈍化や欧州地域の不透明な景況感の継続などから、全体として低成長に推移しました。

我が国経済につきましては、依然として楽観できない状況が続いたものの、消費税率引き上げ前の駆け込み需要などにより個人消費が増加するとともに、幅広い業種において企業収益が改善するなど、明るい兆しが見られました。

このような状況のもと、当社グループと深く関わる自動車業界につきましては、中国を中心としたアジア地域と米州地域での自動車需要の拡大を背景として設備増強が行われるとともに、生産活動についても活発な動きが見られました。一方、同じく当社グループと深く関わるエレクトロニクス業界では、総体的に設備投資及び生産活動に緩やかな回復が見られました。

当社グループは、このような経営環境に対応するため、各市場動向に応じ、設備品及び消耗品の拡販に努め、ローカルニーズに対応した製品投入を進めるとともに、技術革新・次世代装置などの高付加価値製品の開発にも注力してまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高243億25百万円（前年同期比34.3%増）、営業利益50億38百万円（前年同期比61.4%増）、経常利益53億95百万円（前年同期比39.3%増）、四半期純利益35億76百万円（前年同期比53.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①溶接機器関連事業

溶接機器関連事業につきましては、取引先である日系・欧米系・アジア系自動車メーカーにおいて、中国を中心としたアジア地域や米国及びメキシコなどの米州地域などで積極的な増産投資が行われ、世界各地域の自動車生産は高水準となりました。このような環境の下、当部門として設備品の需要拡大への対応及び消耗品の拡販に努めたことなどにより、業績は好調に推移しました。

この結果、部門売上高は173億35百万円（前年同期比41.8%増）となり、部門営業利益は39億99百万円（前年同期比65.3%増）となりました。

②平面研磨装置関連事業

平面研磨装置関連事業につきましては、スマートフォンやパソコンなど主要エレクトロニクス製品の堅調な販売動向などを受け、当部門の取引先であるエレクトロニクス関連素材においても、設備投資及び生産活動に緩やかな回復が見られました。このような環境の下、当部門として顧客要求に適合した販売深耕を各業界へ努めたことなどにより、業績は好調に推移しました。

この結果、部門売上高は70億2百万円（前年同期比18.8%増）、部門営業利益は13億5百万円（前年同期比51.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

1 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は523億24百万円と、前連結会計年度末と比べて48億63百万円増加しました。現金及び預金が20億76百万円、受取手形及び売掛金が13億51百万円、棚卸資産が8億15百万円、その他流動資産が4億34百万円増加したことなどによります。

負債は163億41百万円と、前連結会計年度末に比べて16億91百万円増加しました。支払手形及び買掛金が2億43百万円、賞与引当金が3億88百万円減少した一方で、短期借入金が6億39百万円、未払法人税等が6億38百万円、その他流動負債が8億61百万円、その他固定負債が1億80百万円増加したことなどによります。

純資産は359億83百万円と、前連結会計年度末に比べて31億71百万円増加しました。自己株式の取得により5億1百万円減少した一方、利益剰余金が27億99百万円、円安により為替換算調整勘定が7億28百万円増加したことなどによります。

2 キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は143億22百万円と、前連結会計年度末と比べて21億95百万円増加しました。

営業活動により得られた資金は、26億56百万円となりました。税金等調整前四半期純利益が53億95百万円となった一方、賞与引当金の減少額が4億13百万円、売上債権の増加額が8億51百万円、たな卸資産の増加額が5億52百万円、仕入債務の減少額が4億13百万円、法人税等の支払額が6億44百万円発生したことなどによります。

投資活動により得られた資金は29百万円となりました。定期預金の純減少額が1億58百万円、投資有価証券の売却及び償還による収入が48百万円となった一方、有形固定資産の取得による支出が1億71百万円発生したことなどによります。

財務活動により支出した資金は9億20百万円となりました。短期借入金の純増加額が5億64百万円となった一方、自己株式の取得による支出が5億1百万円、配当金の支払額が7億74百万円、少数株主への配当金の支払額が2億2百万円発生したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の連結業績予想につきましては、現時点において概ね計画通りに推移しており、平成26年3月27日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、SPEEDFAM (NANJING) MECHATRONICS CO., LTD. を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,433	16,510
受取手形及び売掛金	13,466	14,818
有価証券	—	23
商品及び製品	4,766	5,345
仕掛品	1,997	2,226
原材料及び貯蔵品	2,668	2,675
その他	1,273	1,707
貸倒引当金	△425	△342
流動資産合計	38,180	42,964
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,983	2,993
土地	3,012	3,036
その他(純額)	1,295	1,327
有形固定資産合計	7,291	7,357
無形固定資産		
その他	278	283
無形固定資産合計	278	283
投資その他の資産		
投資有価証券	1,130	1,088
その他	629	681
貸倒引当金	△48	△50
投資その他の資産合計	1,711	1,719
固定資産合計	9,280	9,360
資産合計	47,461	52,324
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,667	4,423
短期借入金	1,120	1,760
1年内返済予定の長期借入金	6	6
未払法人税等	477	1,116
賞与引当金	879	491
その他	5,024	5,886
流動負債合計	12,176	13,684
固定負債		
長期借入金	6	—
退職給付引当金	173	182
役員退職慰労引当金	38	39
その他	2,255	2,435
固定負債合計	2,473	2,656
負債合計	14,649	16,341

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,925	1,925
資本剰余金	2,373	2,373
利益剰余金	26,317	29,117
自己株式	△1,079	△1,580
株主資本合計	29,537	31,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	302	283
為替換算調整勘定	1,179	1,907
その他の包括利益累計額合計	1,482	2,191
少数株主持分	1,792	1,956
純資産合計	32,812	35,983
負債純資産合計	47,461	52,324

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
売上高	18,106	24,325
売上原価	12,003	15,688
売上総利益	6,103	8,637
販売費及び一般管理費	2,982	3,599
営業利益	3,121	5,038
営業外収益		
受取利息	68	97
受取配当金	5	7
為替差益	587	216
その他	132	73
営業外収益合計	794	395
営業外費用		
支払利息	22	25
その他	18	12
営業外費用合計	41	38
経常利益	3,874	5,395
税金等調整前四半期純利益	3,874	5,395
法人税、住民税及び事業税	1,053	1,323
法人税等調整額	301	244
法人税等合計	1,355	1,568
少数株主損益調整前四半期純利益	2,518	3,827
少数株主利益	192	250
四半期純利益	2,326	3,576

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,518	3,827
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	151	△19
為替換算調整勘定	3,324	844
その他の包括利益合計	3,475	825
四半期包括利益	5,994	4,652
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,545	4,286
少数株主に係る四半期包括利益	448	366

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,874	5,395
減価償却費及びその他の償却費	269	274
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△76	△100
賞与引当金の増減額(△は減少)	△260	△413
受取利息及び受取配当金	△74	△105
支払利息	22	25
売上債権の増減額(△は増加)	△751	△851
たな卸資産の増減額(△は増加)	125	△552
未収入金の増減額(△は増加)	174	△111
仕入債務の増減額(△は減少)	△416	△413
前受金の増減額(△は減少)	126	617
その他	△225	△549
小計	2,788	3,215
利息及び配当金の受取額	86	110
利息の支払額	△25	△24
法人税等の支払額	△632	△644
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,217	2,656
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△69	158
有形固定資産の取得による支出	△158	△171
有形固定資産の売却による収入	13	6
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却及び償還による収入	28	48
その他	7	△7
投資活動によるキャッシュ・フロー	△183	29
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△719	564
長期借入金の返済による支出	△6	△6
自己株式の取得による支出	△0	△501
配当金の支払額	△388	△774
少数株主への配当金の支払額	△6	△202
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,121	△920
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,282	428
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,194	2,195
現金及び現金同等物の期首残高	6,692	12,126
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,886	14,322

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年2月13日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議しました。これを受け、信託方式による市場買付の方法により、平成26年2月14日から平成26年2月21日までに普通株式129,400株、499百万円の取得を行いました。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,224	5,881	18,106	—	18,106
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	11	11	△11	—
計	12,225	5,893	18,118	△11	18,106
セグメント利益	2,419	864	3,283	△162	3,121

(注) 1 セグメント利益の調整額△162百万円には、セグメント間取引消去△11百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△150百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	溶接機器 関連事業	平面研磨装置 関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,335	6,990	24,325	—	24,325
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	12	12	△12	—
計	17,335	7,002	24,337	△12	24,325
セグメント利益	3,999	1,305	5,305	△267	5,038

(注) 1 セグメント利益の調整額△267百万円には、セグメント間取引消去△12百万円及び報告セグメントに配分していない全社費用△254百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(1) 地域別販売状況

	日本 (百万円)	アジア パシフィック (百万円)	米州 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
外部顧客に対する売上高	4,566	17,018	1,778	962	24,325	—	24,325
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,204	1,153	67	11	3,437	△3,437	—
計	6,771	18,171	1,846	974	27,762	△3,437	24,325
営業利益	417	4,583	193	88	5,281	△243	5,038

(2) 生産、受注及び販売の状況

①生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
溶接機器関連事業	13,021	+35.4
平面研磨装置関連事業	4,836	+34.5
合計	17,857	+35.2

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 金額は、販売価格で表示しております。
3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
溶接機器関連事業	18,212	+36.3	6,345	+64.4
平面研磨装置関連事業	7,118	△0.4	7,475	△12.0
合計	25,331	+23.5	13,821	+11.9

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

③販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
溶接機器関連事業	17,335	+41.8
平面研磨装置関連事業	6,990	+18.9
合計	24,325	+34.3

- (注) 1 セグメント間取引については、相殺消去しております。
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。